

Hannah O'Neill

Première danseuse



バレエダンサー オニール八菜

スペシャルインタビュー

国際的なバレエダンサーとして知られるオニール八菜さん。

8歳でニュージーランドに移住し、

2016年には「バレエ界のアカデミー賞」といわれるブノワ賞を受賞した彼女に、

ニュージーランドについてうかがいました。

——ニュージーランドの小中学校に通った経験も持ちだと思いますが、ニュージーランドの学校教育の印象を教えてください

ニュージーランドでの教育体験はすばらしいものでした。まず、教育制度が非常に優れていると思います。自由度が高く、人生におけるさまざまな道を発見できる機会に恵まれ、安全でフレンドリーな環境の中で成長することができました。

——日本を離れてニュージーランドの生活に慣れるまでに時間はかかりましたか？

正直なところ、家族でニュージーランドに移住したと

きはまだ幼かったので、日本から移住することが文化的にどう違うのか、考えていなかったように思います。ただ、とても緑が多くどこでも走り回れること、学校に大きな芝生のグラウンドがあることに、ワクワクしたことを覚えています。

——日本の生徒・学生たちがニュージーランドで勉強したいと考えたとき、どのような点をおすすめしたいですか？

まず、ニュージーランドの自然の美しさをお伝えしたいですね。それとニュージーランドは特別な場所であり、特別な人々の国です。新しい文化に溶け込むのは大変な

ことですが、ニュージーランドの人々はとても寛大で、楽しい仲間です。多文化であるため、人々は他者に対してとてもオープンだと感じます。

——パリ・オペラ座バレエ団の一員となり、フランスで暮らしはじめた際にはフランス語を話せなかったとお聞きしています。新しい土地での苦労やどのようにそれを克服したかなど、自身の体験をお聞かせください。

おっしゃる通り、パリに到着したとき私はフランス語をまったく話せず、日常生活を送るのに苦労しました。でも、24時間フランス語漬けの生活を送っているうちに、あっという間に上達しました。3か月を過ぎたあたりから、学ぶスピードが速くなったように感じます。大切なのは、自分の間違いを受け入れることです。私の祖母は「大切なのは自分を理解してもらうことであって、どれだけ完璧に話せるかではない」と常に話していました。「間違えることへの恐怖の克服」がフランス語の上達につながりました。

——これまでパリ・オペラ座バレエ団でさまざまな役を演じてこれたと思います。日本、ニュージーランドを含めた海外での経験は、パフォーマンスにどのような影響を与えていますか？

海外経験がダンサーとしてのパフォーマンスを高めているかどうかはわかりませんが、人間として成長させ、私の個性をつくりあげてきたことは間違いありません。私はパリ・オペラ座の多くの人とは異なるダンス教育を受けていますし、日本とニュージーランドの異なる文化の中で育ってきました。そのことが、舞台上でも舞台の外でも、いろいろな意味で私をユニークにしてくれていると思います。

——好きな役、今後挑戦したい役は何ですか？またその理由も教えてください

昨シーズンは、よりドラマチックな役柄を演じる機会があり、現実の人間模様の中で本物の人間を表現することがとても楽しかったです。来シーズンは、パリ・オペラ座の新作バレエ「メイヤーリン」で主役を踊るのでとても楽しみです。また、振付家の人たちと仕事をするのも好きなので、これからも多くの振付家と出会い、仕事をする機会を持ちたいと思っています。

——シーズン中は世界各国を飛び回ることもありますが、心身の健康、ウェルビーイングの維持のために気をつけていることは何ですか？

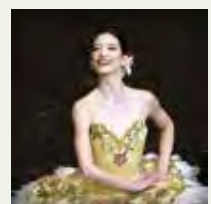
時差ボケは、私たちにとって本当につらいものです。ぐっすり眠って1日中劇場で仕事をするのはとても難しいので、私はすぐに現地時間で生活するようにしています。つまり、食事と睡眠を適切な時間にとるとのことです。

——今回は東京シティ・バレエ団「白鳥の湖」のゲスト主演として来日されましたが、母国である日本の舞台に立つことに対してどのような想いがありますか？

私は日本での公演がとても好きです。観客のみなさんはとても温かく迎えてくれます。とても協力的で、バレエに対する愛情に感動します。私たちの踊りを見て、観客が興奮しているのを感じるのは、世界でもここだけです。また、日本で家族や友人に会うのが楽しみなのはもちろんですが、街を散策(道に迷ったり)するのもとても楽しいです。かわいいカフェやおもしろい建築物、楽しいお店をいつも発見しています！

- Hannah O'Neill's Profile -

東京都出身。3歳から岸辺光代バレエスタジオにてバレエをはじめ。8歳で父親の故郷、ニュージーランドに移住しマウント・エデン・バレエ・アカデミーに入学。2008年、オーストラリアバレエ学校に入学。2009年にローザンヌ国際バレエコンクール、2010年にユース・アメリカ・グランプリ・シニア女子の部で1位獲得。2011年、オーストラリアバレエ学校を卒業しパリ・オペラ座バレエ団とシーズン契約を結ぶ。2013年に正式団員となり、2014年にコリフェに、2015年にスジェに昇格。2016年、ブノワ賞を受賞。同年、ブルミエール・ダンスズに昇格。



© Isabelle Aubert